

(例) 数学のノート

(401) 一般に $n (\in \mathbb{N})$ の素因数分解を

$$n = p_1^{e_1} \cdot p_2^{e_2} \cdot \dots \cdot p_k^{e_k}$$

(p_i は素数, $e_i \in \mathbb{N}$)

とするとき、 n の約数の個数は

$$(e_1 + 1)(e_2 + 1) \dots (e_k + 1)$$

である。

④ 約数の個数を考えるときは、

“素因数分解”

を考える!

“2桁の自然数”であることから、

素因数の個数は限定される!

⇒ コツコツ分類して調べる!

“最大”の論述をきちんとすること!! 肝心!!

・まず、 $2 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 7 = 210 > 99$

であるから、求める自然数の異なる素因数は、
3種類以下である。

・そこで、次に、2桁の自然数 n として n に含まれる
異なる素因数が何種類かで分類する。

~

(講師)

考え方のポイントを自分の言葉で書いているのはとてもいいね!

類題に対応できるようになるよ! クイックにできそうなら、他の問題も同じようにやってみよう!